

V. 埋蔵文化財センターの活動

資料の貸出・提供

貸出先	目的	遺跡名	貸出・提出資料	対応日
株式会社誠文堂新光社	『知られざるやよいライフ』（印刷物・電子書籍）に掲載するため。	朝日遺跡	第154集 朝日遺跡（総集編）赤黒斑文付バレス壺（ddtp154059.jpg）	1点 2019/4/26
株式会社山川出版社	『大学入学共通テスト対応 日本史トレーニング問題集』に利用するため。		研究紀要5「尾張国富田荘の考古学研究」 64p掲載 富田荘園図	1点 2019/6/4
日本放送協会	NHK 総合「ネーミングバラエティー日本人のおなまえっ!」内で利用するため。	清洲城下町遺跡	第99集 清洲城下町遺跡8 図版16 遺物3095・3096 (099-183.jpg)	1点 2019/6/20
西尾市岩瀬文庫	特別展「『新編西尾市史 資料編1 考古』刊行記念 考古遺物の美と謎（ミステリー）」に利用するため。	西川原古墳	第106集 西川原古墳 石室全景写真（106-006.jpg）	1点 2019/6/25
西尾市教育委員会	『新編西尾市史 資料編1 考古』刊行記念パネル展示「写真から見た西尾の発掘のあゆみ」で利用するため。	岡島遺跡 室遺跡 木戸城・古新田遺跡	第14集 岡島遺跡 日次背景写真（014-S001.jpg） 第49集 室遺跡 [第4章副] 作業風景 P127（muro01.jpg） 第111集 木戸城跡・古新田遺跡 第3図作業風景（111b-s011.jpg）	3点 2019/7/4
一般財団法人こまき市民文化財団	小牧山城史跡情報館企画展「信長のお城絵」展で利用するため。	清洲城下町遺跡 名古屋城三の丸遺跡	研第53集 清洲城下町遺跡4 航空撮影遠景 北より（053-S026.jpg） 第99集 清洲城下町遺跡8 遺物2469 (099-182.jpg) 第99集 清洲城下町遺跡8 290p 石番12（RJ2.jpg） 第127集 名古屋城三の丸遺跡7 調査区遠景(127-001.jpg) 愛知県埋蔵文化財センター研究紀要 第13号『後期清須城本丸考』（鈴木正貴）p57 図23 後期清須城本丸周辺の想定復元図	5点 2019/7/26
一宮市博物館	一宮市博物館夏休み期間催事「博物館で夏祭り!」で利用するため。		密釣り道具	1式 2019/8/6
公益財団法人 瀬戸市文化振興財団	企画展「陶器生産の変革-江戸中期の瀬戸窯と美濃窯」で利用するため。	名古屋城三の丸遺跡	第37集 名古屋城三の丸遺跡3 巻頭カラー写真（037-S04.jpg） 図版9 近世の遺構(4) 調査区全景(037-014.jpg) 第161集 名古屋城三の丸遺跡8 写真図版 遺構1 調査区全景（161-002.jpg）	3点 2019/8/13
鈴鹿市教育長	特別展「堀を作り、運ぶ〜伊勢湾をめぐる〜」にて利用するため。	松崎遺跡	松崎遺跡 土層掘り取り 第20集 松崎遺跡 [巻頭カラー] 製塩土器堆積状況 断面（020-015.jpg） 第182集 松崎遺跡2 上浜田遺跡 [巻頭図版4] 出土製塩土器各種(182-013.jpg) [写真図版5] 08Ab 区 O 層 製塩土器出土状況(182-074.jpg)	4点 2019/8/13
株式会社NHK 文化センター豊橋教室	教養講座「三河の遺跡（飯）」のPRに利用するため。	石座神社遺跡	第189集 石座神社遺跡 第3分冊[写真図版5 下] 09B 区全景（189-030.jpg）	1点 2019/8/16
株式会社ジャパン通信情報センター	「文化財発掘出土情報」2019年11月〜2019年12月号（予定）「各地の動向」に掲載するため。	滝瀬遺跡	愛知県埋蔵文化財センター滝瀬遺跡現地説明会資料（PDF）	1点 2019/9/9
株式会社名古屋東通企画	テレビ愛知「サンデージャーナル」内において、愛知の遺跡を特集するにあたり、一色青海遺跡の発掘現場を紹介するため。出土品や過去の写真を資料として使用するため。	一色青海遺跡	第186集 一色青海遺跡 III より 遺物写真図版1 200SD（186-371.jpg） 遺構写真図版4 A 区下面 北西から(186-018.jpg) 遺構写真図版20 20SI モデル入り 遺構写真図版31 B 区下面全景（186-155.jpg） 遺物写真図版17 E379（186-493.jpg,186-494.jpg,186-496.jpg） 第147集 一色青海遺跡 II より [カラー写真図版1] 大型掘立柱建物SB017（147-001.jpg） 大型建物復元CG（147_tatemono.pdf） 一色青海遺跡 19 調査区 中世墓坑 半截写真 2 カット	11点 2019/10/1
ヒストリアへいわ	連続歴史講座「川ものがたり」（全9回）の実費提供資料「青木川の地政学 資料集 前編」に掲載するため。	清洲城下町遺跡 下津宿遺跡	「戦国のあいち展」（平成24年度埋蔵文化財展）リーフレットより 地形図（2p）,年表（3p）,土師器皿写真（4p） 第175集 下津宿遺跡より 表1-3 下津の歴史年表（7p） [遺構写真図版16 D 区最上面]（175-069.jpg） [遺構写真図版 18 D 区最上面・上面]（175-073.jpg） 下津宿遺跡 11D 区遠景写真,鏡造剥片写真,漆付き山茶碗写真 第53集 清洲城下町遺跡より [写真図版13 一段目左] SE6002（053-026.jpg） 清洲城下町遺跡 土師皿集合写真	11点 2019/10/1
株式会社名古屋東通企画	テレビ愛知「サンデージャーナル」内において、愛知の遺跡を特集するにあたり、朝日遺跡と現在建設中のミュージアムを紹介するため。出土品や過去の写真を資料として使用するため。	朝日遺跡	防衛施設遺構（030-014.jpg）、防衛施設復元図（朝日遺跡への招待-1995年発行）、乱杭（030-013.jpg）、逆茂木（030-012.jpg）、航空写真（A-148.jpg）、貝層写真（083-070.jpg）	6点 2019/10/3
豊田市郷土資料館	特別展「猿投山 一祈る山、観る山、登る山」に利用するため。	上ノ段遺跡	第104集 寄元古墳群・上ノ段遺跡より [カラー図版2 下・写真図版29 上] 上ノ段遺跡/遺構 遺跡全景(南から) (104c-003.jpg)	1点 2019/10/24
株式会社敬文舎	設楽博已著「弥生時代」に利用するため。	朝日遺跡	第37集 名古屋城三の丸遺跡3 巻頭カラー写真（037-S04.jpg） 図版9 近世の遺構(4) 調査区全景(037-014.jpg) 第161集 名古屋城三の丸遺跡8 写真図版 遺構1 調査区全景（161-002.jpg）	3点 2019/10/28
西尾市教育委員会	企画展「古墳時代の西尾」に利用するため。	下山古墳	第6集 下山古墳 図版4 下 横穴式石室(006-014.jpg)	1点 2019/10/29
愛知県総務局長	『愛知県史 通史編10 年表・索引』に利用するため。	志賀公園遺跡 大毛沖遺跡 水入遺跡 清洲城下町遺跡 東光寺遺跡	断夫山古墳 航空写真 一色青海遺跡 焼失住居（147-026.jpg、6-2.jpg） 志賀公園遺跡 深掘り（6-3.jpg） 大毛沖遺跡 足跡（6-4.jpg、6-5.jpg、6-6.jpg） 水入遺跡 調査区壁（6-9.jpg） 清洲城下町遺跡 調査区遠景(027-S033.jpg) 東光寺遺跡 調査区壁(6-30.jpg)	10点 2019/12/20
有限会社秋耕社	『東海の名城を歩く・愛知・岐阜編』に利用するため。	名古屋城三の丸遺跡 下津宿遺跡 清洲城下町遺跡	名古屋城三の丸遺跡 堀の写真（044-007.jpg、060-020.jpg） 下津宿遺跡 宝篋印塔の写真（175-002.jpg） 清洲城下町遺跡 土師器の写真（017-023.jpg） 石垣の写真（099-004.jpg）	5点 2019/12/23

<<2020.1.7現在>>
70点

ホームページ

公開ファイル

報告書および説明会資料、連続歴史講座などの資料PDFを追加。過去に刊行された年報について、一部PDF化を実施し公開。また、奈良文化財研究所が管理する「全国遺跡報告総覧」へも報告書PDFを登録した。

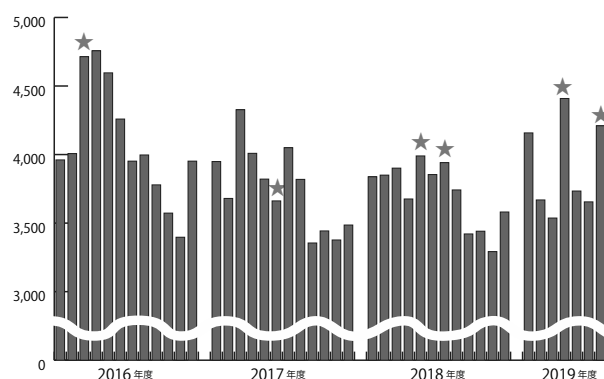
報告書PDF	262件
説明会資料	80件
年報PDF	433件
研究紀要PDF	194件
設楽通信など広報誌	138件
その他チラシ類	63件
歴史講座などの資料	28件
遺跡位置登録	260件
遺跡アルバム	42,138点
図書室公開データ	19,613点

ホームページのアクセス数について

トップページなどのアクセス数を図1と2に示す。トップページのアクセス数は、イベントの告知を行うと増加するが、全体としては減少傾向にある。「遺跡アルバム」は、報告書に掲載された写真をデータベース化して公開しているコンテンツである。このコンテンツのアクセス数は、2018年度末以降、急激に増加している。これは、いろいろな場でコンテンツを紹介する機会が得られたこと、一部の遺物に関して実測図を表示できるようになったことが増加の要因と思われる。「子供用コンテンツ」については、2017年度までは季節によるヒットの増大が見られたが、昨年からの現象は見られなくなった。これは、コンテンツのトップページに、再生が困難になったフラッシュコンテンツが貼り付けたままになっているためと考える。コンテンツの再構築が必要である。次に報告書PDFのアクセス数を見る。図2の報告書PDFのアクセス数を見ると、昨年度以来減少し続けている。一方、折れ線グラフで示した奈良文化財研究所の「全国遺跡報告総覧」における当センター刊行報告書のダウンロード数は、概ね増加している。また報告書付属データをダウンロードできるコンテンツでは、「全国遺跡報告総覧」に合わせた増減が見られた。

SNSの活用は、組織の知名度を上げることを目的に、従来どおり全職員での輪番による記事の公開を行なった。2020年1月上旬現在のフォロワー数はフェイスブックが927名(昨年度824名)、ツイッターが1,698名(昨年度1,224名)。また今年度より始めたインスタグラムについては、フォロワーが32名であった。図3に7月から10月のフェイスブックとツイッターでの反応の変化を示した。インスタグラムはフォロワーが少ないことから、集計していない。2つのSNSにおいて、人気のある記事はほぼ共通しているが、時々反応が異なる記事が存在した。それぞれフォロワーの趣向が現れているのだろうか。今後は、記事のアピール度をますます、ハッシュタグをつけるなど、さらなるフォロワーの確保に努めてゆきたい。

トップページのアクセス数の変化

<http://www.maibun.com/top/>


*概ね6月に新しいPDFを追加

*イベントに関連して報告書PDFのダウンロードが伸びる傾向がある。

2016年度 - 6月「弥生への旅 朝日遺跡」愛知陶磁美術館 告知

2017年度 - 9月 常設展をリニューアル

2018年度 - 8月「板に込めた想い」清須市立図書館 告知

2018年度 - 10月 考古学セミナー「気候変動と弥生社会」

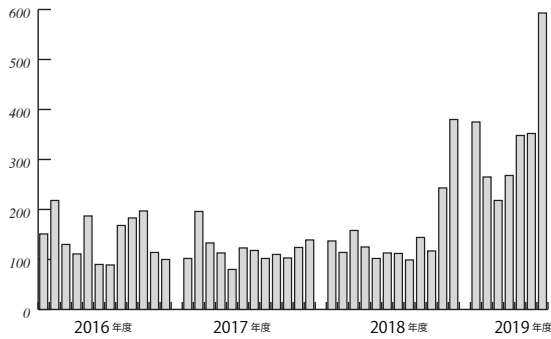
2019年度 - 7月「肝だめし」「歴史講座」ほか 告知

2019年度 - 10月「尾張の城と城下町」名古屋市博物館 告知

図1 トップページのアクセス変化

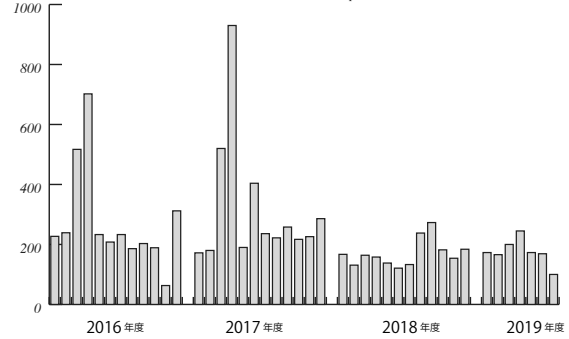
遺跡アルバムページ

<http://www.maibun.com/KihonDate/album2/newindex.html>

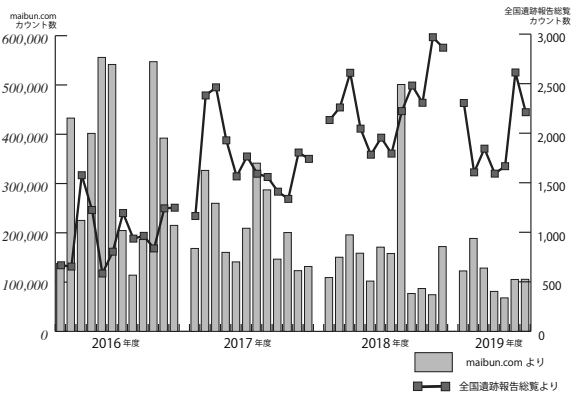


子供用コンテンツ：信長が夢見た城下町

<http://www.maibun.com/Child/Kid2/>



報告書 PDF のアクセス数の変化



報告書付属データへのアクセス数の変化

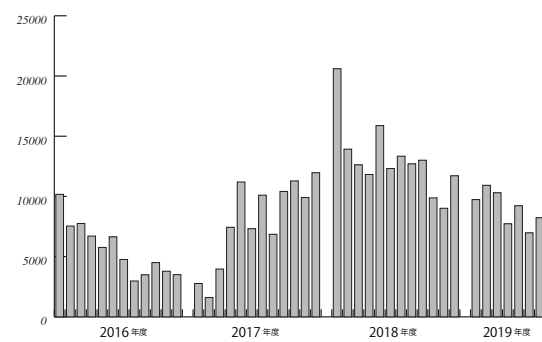
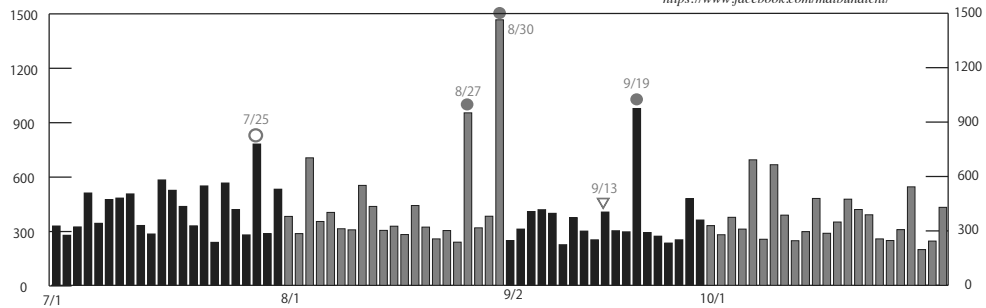


図2 主なコンテンツのアクセス変化

FaceBook 「リーチ」の数値変化

愛知県埋蔵文化財センター FaceBook ページ

<https://www.facebook.com/maibunaiichi/>



Twitter 「インプレッション」の数値変化

愛知県埋蔵文化財センター Twitter ページ

https://twitter.com/aichi_maibun

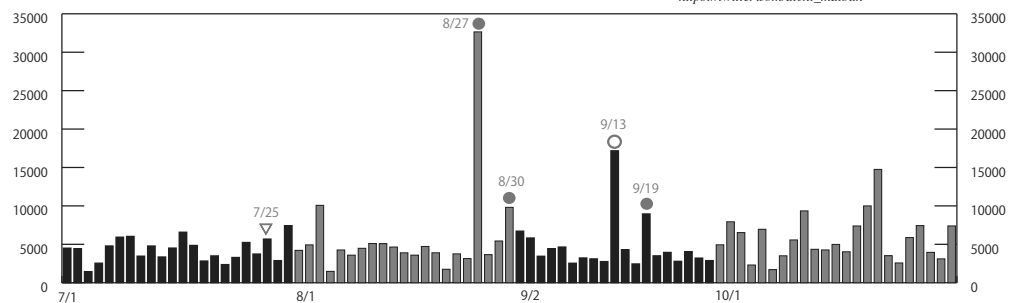


図3 FaceBookとTwitterのリアクションの変化

地元説明会・遺跡報告会

遺跡名	所在地	開催日	参加人数	
上ヲロウ・下ヲロウ遺跡	設楽町川向	令和元年 8 月10日 (土)	27名	地元説明会
一色青海遺跡	稲沢市平和町	令和元年10月 5日 (土)	48名	地元説明会
石原遺跡	設楽町川向	令和元年10月26日 (土)	41名	地元説明会
一色城跡	稲沢市西本町	令和元年11月 2日 (土)	100名	地元説明会
万瀬遺跡	設楽町川向	令和元年11月 9日 (土)	35名	地元説明会
万瀬遺跡	設楽町川向	(感染症防止対策のため開催中止)		成果報告会
上ヲロウ・下ヲロウ遺跡 石原遺跡				

報告書作成のための指導

遺跡名	指導日	指導者	所 属
清洲城下町遺跡	令和元年10月17・18日 (木・金)		
	令和 2 年 2 月20・21日 (木・金)	杓名貴彦	国立科学博物館理工学研究部 研究主幹
	令和 2 年 1 月14日 (火)	石田泰弘	愛西市教育委員会・佐織公民館
	令和 2 年 1 月31日 (金)	藤澤良祐	愛知学院大学教授
笹平遺跡	令和 2 年 3 月17日 (火)	増子康真	名古屋考古学会

発掘調査における遺構・遺物などの指導

遺跡名	指導日	指導者	所 属
石原遺跡	令和元年 10月 19日 (土)	前田清彦	豊川市教育委員会教育部次長
一色城跡	令和元年 12月 5日 (木)	北條献示	元 稲沢市生涯学習課職員
万瀬遺跡	令和元年 12月 20日 (金)	矢野健一	立命館大学教授
上ヲロウ・下ヲロウ遺跡	令和 2 年 3 月 7日 (土)	綿田弘実	長野県埋蔵文化財センター課長補佐

新城設楽地区新規採用教職員初任者研修

遺跡名	研修日	参加人数
上ヲロウ・下ヲロウ遺跡	令和元年 8 月 2日 (金)	参加者 14名／研修担当者 4 名



その他普及事業

「レッツ！発掘体験と温泉」

主催：(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団
共催：(株)旭高原、(有)ささゆり、中日新聞社
主管：愛知県旭高原少年自然の家
愛知県埋蔵文化財センター

後援：愛知県教育委員会、豊田市教育委員会
日時：令和元年10月26日(土)～27日(日)1泊2日
対象：小学生以上とその家族
参加者：9家族31人

開催場所：石原遺跡19B区および休憩所内

事業全般は、愛知県旭高原少年自然の家が主管となって実施し、その中で行われた10月26日の発掘体験について、愛知県埋蔵文化財センターが進行を務めた。

発掘体験当日は参加者の皆さんを3グループに分け、調査現場での発掘体験と石原遺跡の遺構・遺物の紹介、拓本体験を交互に行った。

愛知県旭高原少年自然の家

レッツ！発掘体験と温泉

令和元年10月26日(土)～27日(日)1泊2日

旭高原の山々もほんのり色づきはじめます。爽やかな季節、歴史文化の秋・スポーツの秋を家族みんなで楽しみなませんか。

1日目は、普段できない遺跡の『発掘体験』をします。夜はみんなでミニゲームで楽しみなし。2日目は、『マレットゴルフ・グラウンドゴルフ』に挑戦。プレーの後は、くしはら温泉『ささゆりの湯』で、疲れた体を癒しましょう。

10月26日(土)		10月27日(日)	
12:30	受付・発掘現場集合(設楽町内) ご家族ごとご家族車で現地集合してください(詳細な案内は、参加決定通知にてお知らせいたします)	6:30	起床
13:00	「はじめましての会」	7:00	朝食(バイキング)
13:30	『遺跡発掘・出土品整理作業体験』 石原・土師など各発掘現場を巡回します	7:30	洗濯・部屋点検
17:30	夕食(バイキング)	9:00	会場へ移動(くしはら温泉)
19:00	『家族みんなでミニゲーム』	10:00	ご家族ごとご家族車で移動します。 『マレットゴルフ・グラウンドゴルフ』 爽やかな秋の、親子でいっしょに楽しもう!!
22:00	就寝	11:00	『ささゆりの湯』入浴タイム のんびり疲れを癒してください。
		12:00	昼食(お弁当)
		13:00	「また会う日まで」

募集対象 小学生以上とその家族(40人程度)
※実際の発掘現場に入ることができるのは小学生以上です。

募集期間 令和元年9月23日(月)～10月2日(水)

参加料 大人：5,800円 中学生以下：5,000円
(宿泊料金・食費・保険料・温泉入浴料等含む)

※3歳未満のお子様：1,000円
(保険料・お茶代等)
※上記金額はすべて消費税を含みます。

くしはら温泉「ささゆりの湯」
美しい山景を望み、大自然に囲まれた露天風呂からの眺望は最高です。



拓本体験



石原遺跡の紹介



発掘体験の様子



縄文土器・石器の取り上げ

家族の体験活動推進事業「家族でヒ・ラ・メ・ク佐野遺跡」

趣旨：一宮総合運動場内に所在する佐野遺跡（縄文時代）での縄文人の生活に想いを馳せつつ、縄文人の生活体験を通じて家族でコミュニケーションを図る場を提供する。

主催：（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団

主管：愛知県一宮総合運動場

後援：愛知県教育委員会

協力：愛知県埋蔵文化財センター

日程：8月24日（土）

会場：愛知県一宮総合運動場 会議室

対象者・参加人数：小学生とその家族・10家族37人

「弥生時代の矢を作って弓で飛ばしてみよう！」

概要：矢竹に矢羽根を取り付け、自分だけの矢を作る。さらに当センターで用意した丸木弓を使って実際に弓矢体験をして、何メートル飛ばかを競って証明書を発行する。自分で作った矢はお土産として持って帰ってもらう。



用意するもの：

矢竹、矢羽根、紐、セメダイン、カッターナイフ、定規、カッターマット、マジックペン、硬質スポンジ、証明書

タイムスケジュール：

1. 弥生時代の弓矢の解説 (20分)
2. 矢羽根の取り付け (40分)
3. グラウンドで弓矢体験 (60分)

いちの宮スポーツセンター「家族でヒ・ラ・メ・ク佐野遺跡」
2019年8月24日（土）

自分だけの矢を作って 弓で飛ばしてみよう！

タイムスケジュール

13:30 あいさつ～弓矢の説明

13:50 矢羽根のとりつけとスポンジ製矢じり作り

14:30 グラウンドで弓矢体験～飛距離を競います

15:30 終了～解散

ちゅうめい！！

カッターナイフを使いますので、指を切らないように
気をつけましょ

できた弓矢は、ぜったいに人にむかって飛ばさないでね

できた矢はおみやげにもって帰ってもめいですが、
おうちではイヌ・ネコ・鳥などにむかってうつのは、
ぜったいにしないでください



まずは矢の作成



作業の様子

令和元年度 愛知県埋蔵文化財センター 組織一覧

運営協議会委員

加藤安信	元学校法人大同学園顧問
川村雄司	愛知県教育委員会生涯学習監
高妻洋成	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長
城ヶ谷和広	元愛知県立昭和高等学校長
杉山春記	愛知県都市教育長協議会会長 安城市教育長
竹内 誠	名古屋大学大学院環境学研究科教授
都築暢也	元中京大学客員教授

専門委員

考古学	伊藤秋男	南山大学名誉教授
地理学	海津正倫	奈良大学教授
	榎並正樹	名古屋大学名誉教授
保存科学	高妻洋成	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長
考古学	柴垣勇夫	元愛知淑徳大学教授
形質人類学	多賀谷 昭	長野県看護大学名誉教授
考古学	藤澤良祐	愛知学院大学文学部教授
建築史学	麓 和善	名古屋工業大学大学院教授
木材組織学	吉田正人	名古屋大学准教授
考古学 動物学 植物学	渡辺 誠	名古屋大学名誉教授

センター長

高橋寿人

管理課

課長補佐	川澄堅司
主 任	青山徳彦
主 事	村岡 香
主 事	村井聖美

調査課

副センター長兼 調査課長	池本正明
主任専門員	酒井俊彦 鈴木正貴 樋上 昇
調査研究専門員	堀木真美子 永井宏幸 鬼頭 剛 武部真木 蔭山誠一 川添和暁 永井邦仁 早野浩二
調査研究主任	鈴木恵介
調査研究主事	田中 良 河嶋優輝
調査研究嘱託員	宮腰健司

年報 令和元年度

令和2年3月

編集・発行 (公財)愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

印刷 新日本法規出版株式会社
